

一人でも多くの女性の自立を目指して

「きらめき・ねっと」



無断でコピーおよび転売、譲渡を禁止します。

みなさんは「DV（ドメスティック・バイオレンス）」という言葉を知っていますか。夫や恋人など、親しい人から女性を受ける暴力のことで、近年大きな社会問題として取り上げられるようになってきました。

今回は、DVの被害に苦しむ女性たちの支えになると活動している「きらめき・ねっと」をご紹介します。代表の稲岡張実さんにお話を伺いました。

— DVに関する活動を始められたきっかけを教えてください。

三年前、あるセミナーでDV」という言葉を始めて耳に



「パソコン教室」

し、暴力に苦しむ同性の存在を知りました。その時、女性である私たちが女性を救わなくて、誰が救ってあげられるのか」と思いました。しかし当時は、まだまだDVに対する社会の意識は低く、家庭内のことに第三者が口を出すべきではない」といった雰囲気でした。

その後、個人的には「国連世界女性会議」などに関する活動にかかわることで、DVについての認識を深めていったのですが、もっと小さな組織でもいいから地域で活動し、すぐ近くにいるであろうDVに苦しむ女性を助けたいと思うようになりました。

そして昨年、女性センターの「つどいよっかいち2000」に実行委員として参加し、私と同じ思いや価値観を持つ女性たちと出会いました。

そこで、DVに苦しむ女性たちのための、シェルター（緊

急一時避難所）の設置を目的として、この会を立ち上げました。現在は十五人の会員で活動しています。

— 現在どのような活動をされているのですか。

「シェルター」を設置する資金を得るために、さまざまな活動を行っています。

私たちが活動を行う上で、最も大切に行っていることは、会員一人ひとりが持つ才能や得意とする分野をイベントに取り入れ、ほかの会員がそれに協力することで、お互いに認め合い、自分らしさを出していくということです。例えば、料理やパソコンが得意な人はそれを教える教室を開いたり、楽器を弾くのが得意な会員はコンサートを開いたり、それぞれが無理をせずに行えることから始めるということです。

そして、これらの活動を通して得られた収益金を「DVシェルター設置基金」として積み立てています。これまでに積み立てた額は一九九四五〇円になりました。

三月には、親子で学べるパソコン教室を開催する予定です。ぜひご参加ください。

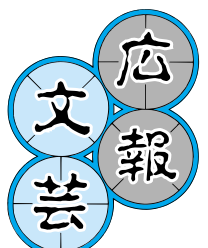
— DV以外にも活動のポイントがあるそうですね。

はい。もう一つの活動のポイントは、アンペイドワークにたずさわる人々への支援です。「アンペイドワーク」は、家事・育児・介護・地域での活動など賃金が支払われない無償労働のことで、この労働の約九割を女性が担っているとされています。

私たちの会では、アンペイドワークを担う人たちが自分の個性や才能を生かした活動を行ってお金を得ることで、自立できる機会を提供しています。

DVにしてもアンペイドワークにしても、私たちの会を通して、一人でも多くの女性が自立への道を開くきっかけをつかんでもらうことが私たちの願いです。

「きらめき・ねっと」についてのお問い合わせは、稲岡張実さん（☎55・3984 ホームページアドレス <http://www.3.ocn.ne.jp/~syaron/>）この欄やNPOに関する問い合わせ先：市民活動センター（☎50・0201）



短歌

戸川晴子選

俳句

西條真智生選

川柳

保地桂水選

絶筆となる日もあらむ日記買ふ
城東町 南部正男
海女一人増えて焚火の新を足す
桜台二丁目 中尾久子
震きて母子で濡れる聖母像
前田町 川瀬小夜子
群れ飛べる鳩にニアミス年の暮れ
城東町 南部文字
朝寝して寝癖の付きし髪を梳く
尾平町 富田富美子

死後などにしてはならない両隣
八田一丁目 松山時夫
幸せ一つ薬指から逃げてくる
別名二丁目 青木洋子
夢馳せる新世紀へとゆずの風呂
北町 小津みや子
姑にはまだまだ遠い膝頭
大谷台二丁目 島中幸子
「若いわね」言われてそっと見る鏡
高旭町 小川勇